

## 資料 2

## 栃木県医療費適正化計画協議会(10/27)における主な意見

栃木県保健福祉部

項目	主な意見
計画全般	<ul style="list-style-type: none"> <li>・都道府県の抜本的・ガバナンスの強化が必要である。基本的な考え方として、保険者の機能や県の役割について触れるべきであり、第4章における県の役割について、「促す」では表現が弱い。主体的な県の役割を記載すべき。特に、データ分析については、県が主体となって保険者と共に分析するべきであり、県の人的資源を活用してデータ解析を進めていただきたい。</li> <li>・データは信頼性が重要である。医療側としては、レセプトの病名はレセプト病名であり、本当の病名に関するデータがとれないのではないかと危惧している。</li> </ul>
取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定保健指導について、市町保健師としては、市町間の情報交換を通じて、実施率が低い市町の向上を目指していきたい。</li> <li>・特定保健指導やがん検診について、働いている方、特に非正規の方が課題である。</li> </ul>
医療費の見込み	<ul style="list-style-type: none"> <li>・特定健康診査を進めることで、若干医療費が上がったとしても健康づくりのためであると考えられるのではないかと。</li> <li>・入院医療から在宅医療へ移行しても、医療費が下がるとは限らないことや、在宅医療を強調することにより、介護する家族にとって負担になることに留意する必要がある。</li> </ul>
見える化	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平均寿命と健康寿命のデータが古いため、新しいデータを示していただきたい。</li> <li>・要介護については要因がわかっているのではないかと。疾患と要介護の関係や要因を流れで示す、絵で見せることで住民に啓発する、という取組が必要ではないかと。</li> <li>・文字が小さい、活字が多いと読みにくい。わかりやすさに配慮していただきたい。</li> </ul>
各専門職の役割	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予防・健康づくりの取組は、行政保健師の役割が大きい。各地域の配置状況がわかるとよい。</li> <li>・薬局では薬剤訪問指導を行っているので、適正服薬・適正受診の取組にぜひ薬剤師を加えていただきたい。</li> <li>・栄養と健康は密接に関係しており、近年、在宅での管理栄養士による指導の需要も高まっているため、ぜひ管理栄養士を活用</li> </ul>

	<p>していただきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食事の問題については、医師、保健師、栄養士と共に、歯科医師の専門的な方を呼び込むことも将来的に必要ではないか。</li> </ul>
<p>診療報酬の特例</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・栃木県の医療費は安い状況である。一部の医療費が高い県では、診療報酬の単価を安くするという話がでており、栃木県では単価を上げてもいいとも言えるのではないか。医療費適正化のための努力は必要であるが、本県は、すでに適正化できていると言えるため、単価を下げることはない。</li> <li>・(本県では特例を適用しないことを前提として) 他県で特例が適用された場合、患者の流入・流出が発生し、地域医療の計画はめちゃくちゃになる。厚生労働省に対して、14条を適用した場合における地域医療構想への影響をどのように考えているか、質問していただきたい。</li> </ul>

平成28年度 栃木県及び市町別保健師配置状況

平成28年4月1日現在

健康福祉センター (保健師数)	管内市町	保健衛生主管課保健師の状況			福祉等関係課 保健師数	その他の配属 保健師数	保健師 総数	前年度 増減	H27年度 総数
		人口	保健師数	1人当りの担当人口					
県西(11)	鹿沼市	98,046	17	5,767	7	1	25	1	24
今市(3)	日光市	82,901	21	3,948	11	1	33	1	32
市町合計		180,947	38	4,762	18	2	58	2	56
県東(13)	真岡市	79,462	12	6,622	2	0	14	-1	15
	益子町	23,162	5	4,632	2	0	7	0	7
	茂木町	13,029	5	2,606	2	0	7	0	7
	市貝町	11,631	4	2,908	1	0	5	1	4
	芳賀町	15,125	6	2,521	3	0	9	0	9
市町合計		142,409	32	4,450	10	0	42	0	42
県南(15)	小山市	166,789	19	8,778	8	2	29	2	27
	下野市	59,102	11	5,373	8	0	19	0	19
	上三川町	31,065	9	3,452	1	0	10	0	10
	野木町	25,303	6	4,217	4	0	10	0	10
	計	282,259	45	6,272	21	2	68	2	66
栃木(4)	栃木市	158,796	25	6,352	22	0	47	-2	49
	壬生町	39,876	9	4,431	0	0	9	2	7
	計	198,672	34	5,843	22	0	56	0	56
市町合計		480,931	79	6,088	43	2	124	2	122
県北(14)	大田原市	75,150	14	5,368	3	0	17	-1	18
	那須塩原市	116,678	20	5,834	5	0	25	2	23
	那須町	24,769	5	4,954	1	1	7	0	7
	計	216,597	39	5,554	9	1	49	1	48
矢板(3)	矢板市	33,232	5	6,646	3	1	9	-1	10
	さくら市	44,891	9	4,988	2	0	11	1	10
	塩谷町	11,356	5	2,271	1	0	6	1	5
	高根沢町	29,507	5	5,901	3	0	8	2	6
	計	118,986	24	4,958	9	1	34	3	31
烏山(4)	那須烏山市	26,795	4	6,699	7	0	11	2	9
	那珂川町	16,751	6	2,792	2	0	8	0	8
	計	43,546	10	4,355	9	0	19	2	17
市町合計		379,129	73	5,194	27	2	102	6	96
安足(12)	足利市	148,965	21	7,094	14	1	36	1	35
	佐野市	118,297	17	6,959	7	0	24	0	24
市町合計		267,262	38	7,033	21	1	60	1	59
宇都宮市		518,712	57	9,100	24	1	82	0	82
県内市町合計		1,969,390	317	6,213	143	8	468	11	457
県合計	広域健康福祉センター		60		5	41(本庁等)	120	0	120
	地域健康福祉センター		14		0				

・人口、世帯数：栃木県毎月人口推計(2016.4)を使用

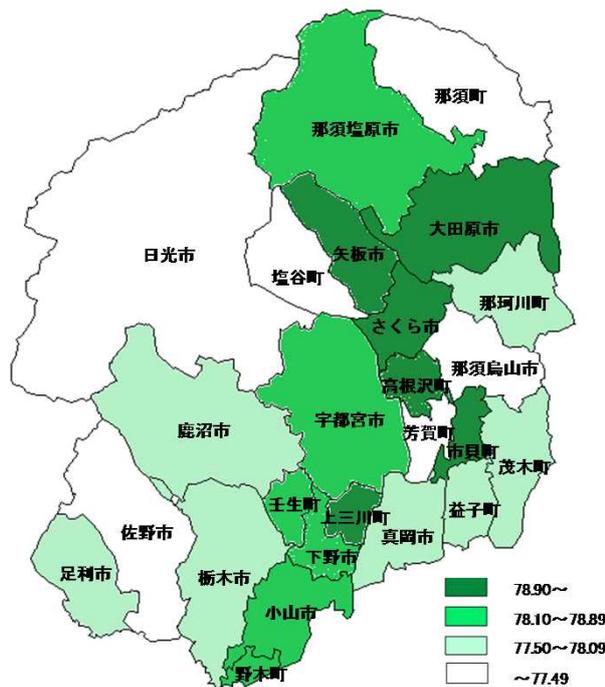
・市町保健師の状況：栃木県市町村保健師業務研究会資料(平成28年度)を使用

## 本県の健康寿命マップ(平成25年)

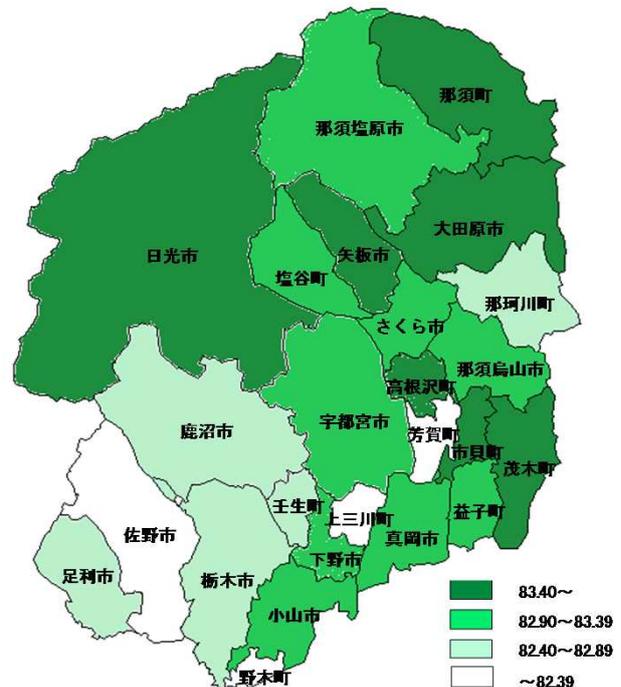
介護保険の要介護度に基づく健康寿命推定値(平成25年)(単位:年)

市町名	男性	女性	市町名	男性	女性
宇都宮市	78.58	83.17	上三川町	79.30	82.21
足利市	77.52	82.42	益子町	77.97	83.35
栃木市	77.55	82.40	茂木町	77.97	83.44
佐野市	76.86	81.63	市貝町	79.03	83.62
鹿沼市	78.05	82.65	芳賀町	76.59	81.98
日光市	77.17	83.53	壬生町	78.35	82.47
小山市	78.18	83.11	野木町	78.52	81.93
真岡市	77.75	83.30	塩谷町	75.38	83.11
大田原市	78.97	83.48	高根沢町	79.10	84.59
矢板市	78.92	83.78	那須町	76.70	83.45
那須塩原市	78.66	83.24	那珂川町	78.09	82.81
さくら市	79.01	83.37			
那須烏山市	77.40	83.16			
下野市	78.81	83.26	<b>県全体</b>	<b>78.12</b>	<b>82.92</b>

<健康寿命マップ(男性)>



<健康寿命マップ(女性)>



【出典】栃木県「平成28年度健康度「見える化」事業報告書」

「不健康な期間」を算定するに当たって、介護保険事業における要介護2以上の認定者数を用いて推定値を算出しています。(厚生労働省科学研究費補助金による研究班が定めた指針及びプログラムを使用して県が算定)

人口規模が小さい市町がほとんどであるため、精度確保の観点から死亡数等について平成24年～平成26年の3か年分を補足しています。